

ホルムアルデヒド検出に関する緊急要望書

平成24年6月

平成24年5月中旬、利根川水系の浄水場においてホルムアルデヒドが水質基準値を超えて検出され、広範囲で取水停止や断水を伴う水質事故が発生した。これは、主にヘキサメチレンテトラミンが河川水中に流下したことが原因であり、人の健康への影響が極めて懸念される水質事故に、水道事業者は大変な脅威を感じている。

水道水の安全性を確保するためにはホルムアルデヒド生成の原因物質について、水道水源への排出を強く規制することが不可欠である。水道水の安全性の確保は、国民の生命と健康を守る上での基本であることから、下記の事項について緊急に措置を講じるよう要望する。

記

(ホルムアルデヒド生成能としての環境基準及び排水基準の設定への関係省庁に対する要請)

- 1 人の健康に影響を及ぼす項目であるホルムアルデヒドについて、その生成能に関して環境基準及び排水基準の設定を早期に実現されるよう関係省庁に強く働きかけていただきたい。

(産業廃棄物排出企業への、指導及び監視強化への関係省庁に対する要請)

- 2 排水基準の有無に関わらず、人の健康や水質管理に影響を及ぼし、水道水の安全・安心を脅かす物質を排出する事業者に対して、排出抑制の指導や排出動向の監視を行う枠組みの策定などの対策が早期に実現されるよう関係省庁に強く働きかけていただきたい。